

女性活躍の輪を広げ

埼玉県

GJキャリア
アップセミナー

職場環境整備に注力

埼玉県下水道局では、女性が働きやすい職場環境整備に力を入れている。2月7日、埼玉教育会館で「令和4年度埼玉県下水道局GJキャリアアップセミナー」を開催した。埼玉県および県内市町の下水道担当部署ならびに埼玉県下水道公社に所属する24人の女性が参加し、キャリアアップへの意識醸成や女性職員間の連携強化を図った。冒頭あいさつに立った今成貞昭埼玉県下水道事

業管理者は「GJキャリアアップセミナーは令和2年度に企画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、今回が念願の開催となる。県や公社、市町、組合の方をこうして一堂に集まるのは初めてなので、ぜひ人脈づくりの場として生かしてほしい」と期待した。日本下水道新技術機構の阿部千雅研究第一部長兼企画部長は、自身の経歴を交えながら、女性のキャリア構築に当たって

感じたことを講演。阿部研究第一部長兼企画部長は、女性が活躍するためには周囲の理解やサポート、そして団結が重要であることを強調した。本セミナーを主催する埼玉県下水道局下水道管理課の伊東祐一主幹からは、埼玉県下水道局で実施している「アンコンシヤスパイアス研修」の紹介が行われた。アンコンシヤスパイアスは、性別や年齢、職業などに対する無意識の偏見で伊東主幹は、「なくすためには、客観的な根拠に基づく判断や継続的な学習が重要である」と述べた。

続いて、「自分らしい活躍」「自分らしく活躍するために」をテーマにグループワークを実施。自分らしい活躍をするためには、コミュニケーションを取りやすい環境を整えることや、周囲に対し

て自身が置かれている状況を共有することが重要であることなど、さまざまな意見が挙がった。講師に立った阿部研究第一部長兼企画部長は、「グループワークで出て

きた話を聞いてみると、今後どうやって働きたいか、周りの人どう付き合いたいかなどの男女を問わず共通する話題が多いように感じた」と締めくくった。

前回訓練の課題を検証

川崎市

夜間排水 諏訪地域でポンプ初稼働

川崎市上下水道局は2月22日、諏訪排水種管周辺地域で夜間排水訓練を実施した。昨年、同地域周辺で行った夜間総合訓練で課題に挙げた電源ケーブルの引き込み確認などの方法を効率的に改善

する目的で、検証作業を行った。また、同地域で初めて排水ポンプを使用した排水作業を行った。現場では、事前に多摩沿線道路を交通規制。作業帯を確保して排水ポンプを設置したほか、排

水ポンプ投入用マンホール(開口φ600)内が雨水で満管な状態を疑いに作り出し、排水ポンプの投入が完了した時点から訓練をスタート。地元の見守る中、多摩川に排水する作業が始まった。訓練はまず、排水ホールの設置から開始。全8カ所ある排水ポンプ投入